

第4次小平市子ども読書活動推進計画の策定にあたって

「小平市子ども読書活動推進計画」は、0歳から18歳までの子どもの読書環境の整備や、家庭、学校、地域、図書館等が連携しながら、読書活動の推進に努めるために必要な施策を示したものです。

「第3次小平市子ども読書活動推進計画」における成果や課題、諸情勢の変化等を検証した上で、引き続き子どもの読書活動の推進を実践していくために、現行計画を改定し、「第4次小平市子ども読書活動推進計画」を策定します。

第4次小平市子ども読書活動推進計画の骨子（案）

第1章 計画の基本的な考え方

第1 計画策定の背景

(1) 国の動き

- ・第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定（平成30年4月）
- ・「第5次学校図書館図書整備等5か年計画」が平成29年度からスタート

(2) 東京都の動き

- ・「第三次東京都子供読書活動推進計画」を策定（平成27～31年度）

(3) 小平市の動き

- ・「第3次小平市子ども読書活動推進計画」を策定（平成27～31年度）

第2 計画の位置付け

「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項に基づく。

第3 計画策定の目的

「小平市教育振興基本計画」の目標を踏まえつつ、子どもが心豊かな人間性を育むために、自主的な読書活動を進めることができるよう家庭・学校・図書館・地域が連携した環境の整備・充実を図ることを目的とする。

第4 計画の期間及び対象

本計画の期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とする。

対象は、0歳から18歳までとする。

第5 計画の方針

第3次計画の取組を踏まえ、学校図書館の支援に努めるとともに、子どもの自主的

な読書活動を推進するため、家庭・学校・図書館・地域を始めとした社会全体で、子どもが読書に親しむための環境整備に努める。

第2章 これまでの取組と成果

- (1) 家庭における読書活動とその成果
 - ・乳幼児の時期から絵本に触れることの大切さを保護者に伝えるため、3～4 カ月児健診時に「ブックスタート事業」を開始。
- (2) 学校における読書活動とその成果
 - ・平成 18 年「学校図書館支援センター推進事業」を実施後、学校図書館協力員の配置、システム導入など学校図書館の整備、充実に努めてきた。
- (3) 図書館における読書活動とその成果
 - ・児童書の選定・収集に力を入れるとともに、絵本のへや、おはなし会、児童文学講演会などの行事を実施してきた。
- (4) 地域における読書活動とその成果
 - ・地域で活動する「小平市子ども文庫連絡協議会」と図書館が連携し、共催で講演会やおはなし会を開催してきた。

第3章 小平市における子どもの読書活動の現状と課題

第1 第4次計画策定に向けてのアンケート調査の実施について

第2 アンケート調査結果を受けての課題

- (1) 学校段階が進むにつれて増加する読書離れへの対応

アンケート調査結果によると、小学生から高校生に向けて、年齢が上がるほど「本と接する機会がある」と回答した人の割合が減っていた。一方で、読書を好きになったきっかけについて質問したところ、「よい本との出会い」との回答が多く得られた。
- (2) 公立図書館の学校への支援の在り方

アンケート調査結果によると、小学生、中学生は公立図書館よりも学校図書館を利用する割合が高かった。子どもたちにとって学校図書館が一番身近に本と接することができる場所であることを踏まえ、図書館は今後も学校図書館の充実のための支援を継続していくことが必要である。
- (3) 行事内容の検討

中学生、高校生は、「図書館の行事に参加したことがない」、「興味のある行事がない」との回答が多かった。中学生職場体験や高校生ボランティア体験など行っているが、今後も行事の内容や広報について検討する必要がある。
- (4) 地域における取組の差

アンケート調査結果によると、子どもの図書館の利用状況や行事への参加状況など

において、地域によって差がみられた。子どもに本とふれあう機会を同様に提供できるよう、地域に働きかけていく必要がある。

(5) ティーンズコーナーの見直し

各図書館に「ティーンズコーナー」が設けられていることが、アンケート調査結果ではほとんど知られていないことがわかった。ティーンズコーナーの在り方について、今後検討が必要である。

(6) 情報環境の変化が子どもの読書環境に与える影響の把握

アンケート調査結果によると、電子書籍で本を読んだ子どもの割合は5年前の調査時よりも増えていた。スマートフォンの普及やコミュニケーションツールの多様化は、子どもの読書環境に影響を及ぼす可能性があるため、その動向を注視していく必要がある。

第4章 具体的な取組 ―成長過程に合わせた取組―

第1 未就学児に対する取組 ※【新規】第4次計画から新たに加えた取組

- (1) 乳幼児とその保護者へのサービス【新規】
- (2) ブックスタートの実施【新規】
- (3) 図書館における行事の定期的な開催
- (4) これから子育てをする方へのサービス
- (5) おはなし室の開放【新規】
- (6) 「子育て支援講座」実施による家庭での読書推進
- (7) 児童館における読書活動の充実
- (8) 「子ども家庭支援センター事業」との連携
- (9) 幼稚園の図書館見学
- (10) 保育園における読書活動の推進
- (11) 幼稚園における読書活動の推進
- (12) 児童文学講演会の開催
- (13) 特別な支援を必要とする子どもへの支援
- (14) リサイクル本の提供

第2 小学校・中学校・高等学校に対する取組

- (1) 小・中学校における読書活動の推進
 - ① 学校図書館指導年間計画の作成と実施（指導課・学校）
 - ② 学習情報センター機能の充実（学校）
 - ③ 学校図書館システムの整備（学務課・図書館）
 - ④ 市立図書館資料の活用（学校・図書館）
 - ⑤ 図書の購入方針・廃棄基準の整備（学務課・図書館）

- ⑥ 学校図書館担当教諭の資質向上（指導課・学校）
- ⑦ 啓発・広報の充実（学校）
- ⑧ 児童・生徒の主体的な読書活動の推進（学校・指導課）
- ⑨ 放課後子ども教室における読書活動の推進（地域学習支援課）
- ⑩ 学童クラブにおける読書活動の推進（子育て支援課）
- ⑪ 特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援（指導課・学校・図書館）

（２） 図書館における読書活動の推進

- ① 小学校入学時における図書館案内（図書館・学校）
- ② 小・中学校向けの「夏休みおすすめ本リスト」の作成・全校配布（図書館）
- ③ 小学校から高校生向けの参加型図書行事の開催（図書館）
- ④ 市内小・中学校におけるブックトークの実施（図書館・学校）
- ⑤ 読み聞かせに関する講座の実施（公民館・地域学習支援課・図書館）
- ⑥ 子どもたちにとって魅力ある図書館の環境整備（図書館）【新規】
- ⑦ 子どもの読書推進の支援（図書館）【新規】
- ⑧ 職場体験、奉仕体験、インターンシップや実習生の受入れ（図書館・学校）
- ⑨ ティーンズ委員会の開催（図書館）【新規】
- ⑩ 情報リテラシーの支援（図書館）
- ⑪ アーカイブの利活用促進（図書館）【新規】
- ⑫ 市内の高等学校との情報交換（図書館）
- ⑬ 小・中学校への学校図書館協力員の配置（図書館・学校）
- ⑭ 学校図書館協力員への研修会の開催（図書館・学校）
- ⑮ 小・中学校における学校図書館システムの活用支援（図書館）
- ⑯ 小・中学校に向けた調べ学習用図書の貸出（団体貸出）（図書館）
- ⑰ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催を契機とした取組（図書館）【新規】
- ⑱ 特別な支援を必要とする子どもへの支援（図書館）
- ⑲ ホームページの充実（図書館）
- ⑳ 小平市子ども文庫連絡協議会への支援（図書館）

第5章 計画の推進と評価

本計画の推進にあたっては、庁内の関係各課で構成される「小平市子ども読書活動推進計画検討委員会」において、進捗状況の点検・評価を行ない、計画的かつ効果的に施策や事業を推進していく。